



今日のトピック 2019年8月の注目イベント

米利下げの影響や米中・日米貿易交渉の行方に注目

- 足元の米国株式市場は、7月末の米国の利下げ期待を織り込む形で株価指数が過去最高値を更新するなど上昇相場となっています。米国の金融政策が世界の金融市場や金融政策に与える影響が注目されます。
- 日本では、参院選の終了を受けて日米貿易交渉が行われます。8月中に閣僚級協議が行われ、9月の国連総会に合わせて日米首脳会談が行われる見込みです。
- 中国では例年、7月後半から8月前半にかけて北戴河会議が行われます。非公式な会議ですが、米中貿易問題やデモが続いている香港への対応などが話し合われるとみられます。
- 米中貿易協議は20カ国・地域首脳会議（G20サミット）での米中首脳会談後、初の閣僚級会議が7月末に上海で開かれます。その後も協議は継続される見込みで、次回はワシントンで開くことも計画されており、今後の進展が注目されます。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2019年8月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:7月ISM製造業景況指数 2日:7月雇用統計、6月貿易収支 5日:7月ISM非製造業景況指数	1日:イングリッド銀行(BOE)金融政策決定会合 2日:ユーロ圏6月小売売上高、ユーロ圏6月生産者物価指数(PPI) 7日:ドイツ6月鉱工業生産 9日:英4-6月期GDP、ドイツ6月貿易収支	7月後半~8月前半:中国北戴河会議 1日:中国7月財新製造業PMI 5日:インドネシア4-6月期GDP 6日:豪州金融政策決定会合 7日:インド金融政策決定会合、タイ金融政策決定会合、中国7月外貨準備高 8日:フィリピン金融政策決定会合、フィリピン4-6月期GDP、中国7月貿易収支 9日:中国7月PPI・CPI	8月中:日米貿易交渉閣僚級協議 6日:6月家計調査、6月毎月勤労統計、6月景気一致CI指数、6月景気先行CI指数 8日:6月国際収支、7月景気ウォッチャー、7月東京オフィス空室率 9日:4-6月期GDP
13日:7月消費者物価指数(CPI) 15日:7月小売売上高、7月鉱工業生産 16日:8月ミシガン大学消費者センチメント指数(速報)	14日:ドイツ4-6月期GDP、ユーロ圏6月鉱工業生産 16日:ユーロ圏6月貿易収支	14日:中国7月鉱工業生産・小売売上高・固定資産投資 15日:メキシコ金融政策決定会合、豪州7月雇用統計、中国7月70都市住宅価格指数 19日:タイ4-6月期GDP	14日:6月機械受注 19日:7月貿易収支、7月首都圏マンション発売戸数 22日:6月全産業活動指数 23日:7月全国CPI
22日:7月景気先行指数 22-24日:ジャクソンホール会合 23日:7月新築住宅販売件数 26日:7月耐久財受注 27日:8月消費者信頼感指数、6月S&Pコアロジック・ケースシーラー住宅価格指数 30日:7月個人所得・個人支出(PCE)・PCEコア物価	22日:ユーロ圏8月製造業購買担当者景気指数(PMI) 24-26日:G7首脳会議(フランス) 26日:ドイツ8月IFO企業景況感指数 29日:ドイツ8月CPI 30日:ユーロ圏8月CPI	22日:インドネシア金融政策決定会合 29日:ブラジル4-6月期GDP 30日:インド4-6月期GDP 31日:中国8月製造業・非製造業PMI	30日:7月失業率、7月鉱工業生産、7月住宅着工件数、7月小売業販売額

(注) 2019年7月26日現在。日付は現地時間。(出所) 各種報道等より三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも  
チェック!

2019年7月22日 参院選の結果と日本株への影響 (市川レポート)  
2019年7月18日 利下げ局面での米国株式市場

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。